雨水分流除塵器 『ぶんりゅうII型』

（地下直結タイプ）

取扱説明書

【目次】

【1】施工手順（準備・位置決め・配管接続）

【2】取付後の確認事項（ストレーナー・オリフィス・バルブ確認）

【3】維持管理の方法（清掃手順・目詰まり対処）

【4】交換可能部材一覧

2026年10月改訂

【1】施工手順

既設の建物に後付けする場合の一般的な施工手順です。
※新設の建物の場合は、縦樋と「ぶんりゅうⅡ型」を直結して同様に施工してください。

① 掘削および設置場所の決定

- 雨水を取水する縦樋の下、もしくは近くに「ぶんりゅうⅡ型」の設置場所を決め、直径50cm程度の穴を掘ります。
- **埋設配管の場合：** 穴の深さは通常50cm～70cm程度とし、底面には砕石を敷き、しっかり締め固めます。（図１）
- **地上配管の場合：** キャップ部分が埋まる程度の深さ（10cm程度）にし、同じく砕石を敷き、しっかり締め固めます。

② 配管と本体の組み立て

- 掘った穴の中に「キャップ付き90度Y」を設置し、接続塩ビ管（通常80cm程度）を立ち上げ、その上に「ぶんりゅうⅡ型」本体を設置します。
- 接続塩ビ管は通常「VU150」、90度Yも呼び径「150」を使用します。
- **縦樋が長い場合等：** 安定性・自立性を確保するため、呼び径200の90度Yを使い、インクリーザーで調節して配管してください。
- キャップ付き90度Yの配管口部には、泥が入らないようウエス等で蓋をしておきます。(図１）

③ 雨水タンク（地下貯水槽）への配管

- ぶんりゅうⅡ型と雨水タンクの間の配管経路を決定します。
- 決定した経路に沿って必要な深さの溝を掘り、雨水タンクの流入口とキャップ付き90度Yの間を配管します。（図2）

図１

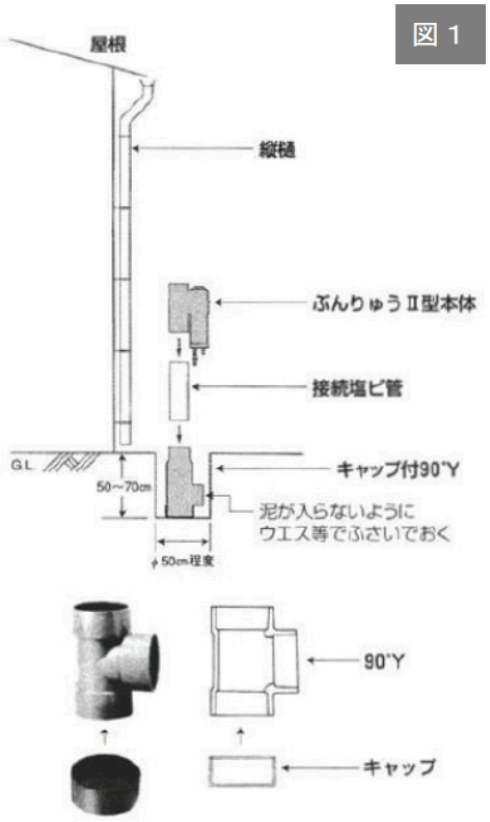
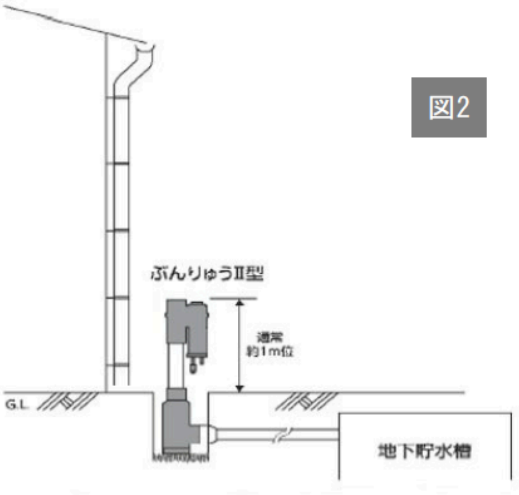


図2



④ 点検口の設置（任意）

- 水漏れ確認や通水確認、メンテナンスのために、縦樋の途中に「90度大曲Y」を設置しても構いません。
- 開口部には必ず防虫網付きキャップをはめてください。（図３）

⑤ スペースの調整（エルボの使用）

- 縦樋の真下にぶんりゅうII型を設置することが難しい場合などは、45度エルボ等を用いてスペースを確保し、位置決めを行ってください。（図4）

⑥ 仮組みと接着

- 一度全体を組み上げてみて間違いがないことを確認した後、各接合部を接着剤で接着し、配管を完了します。

⑦ 動作確認および埋め戻し

- ぶんりゅうII型の作動や、配管部に水漏れ箇所がないことを確認します。
- 確認後、雨水タンクとぶんりゅうII型の間の溝を埋め戻して作業終了となります。

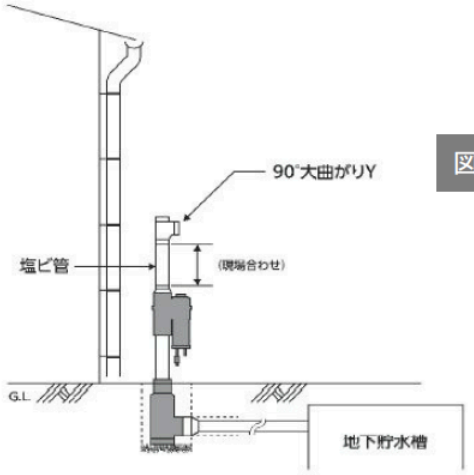
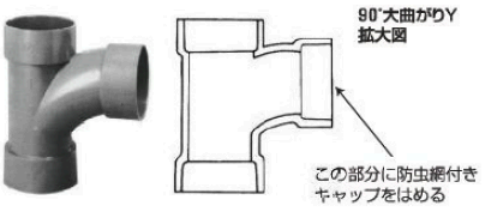


図3



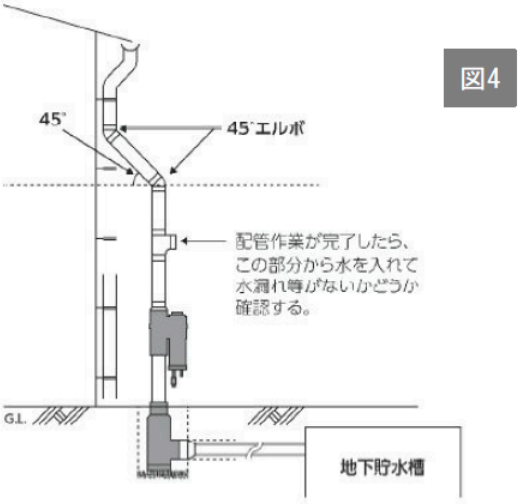


図4

【注意事項】

縦樋が10mを超えるような場合は、塩ビ管の伸縮により「ぶんりゅうII型」が引っ張られ、破損する可能性があります。伸縮継手などでの対応をお願いいたします。

【2】取付後の確認事項

①ストレーナーの装着確認

ストレーナー（青）およびストレーナー（ピンク）がしっかり収まっているか確認してください。（図5）

②オリフィスの選定・取り付け

オリフィス（φ1、φ2、φ3）の中から1つを選び、Oリングをはめて本体に差し込んでください。（図6）

③バルブの開閉確認

オリフィス横のバルブは通常時は必ず閉めておいてください。（清掃時のみ開）

④オリフィスの排水処理

地上に垂れ流しとなります（降雨後、初期雨水溜りの中の雨水がすべて排出されたら止まります）。必要に応じてホース配管または塩ビ管等で配管処理を行ってください。

図5

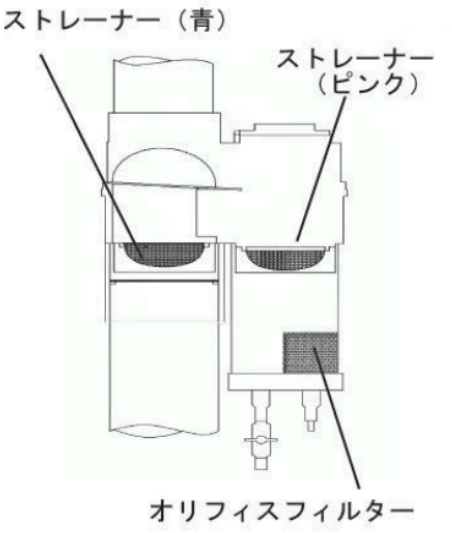


図6



【3】維持管理の方法

(1) 本体内部の掃除

周辺環境にもよりますが、通常1～2ヶ月程度を目安に、次の手順に従って内部の掃除を行ってください。

①大きなゴミの除去

管理ボックス上部の蓋を上げて開口部から内部に手を入れ、落ち葉などの大きなゴミは手で取り除くか、ストレーナー（ピンク）内に落とし込んでおきます。（図7、図8）

図7

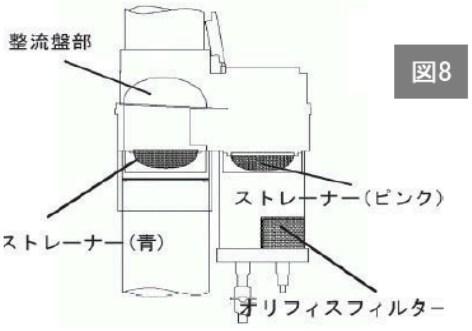


▲開口部から手を入れて掃除を開始

②ストレーナー（青）の洗浄

ストレーナー（青）を取り出し、水洗いした上で元の位置に戻します。
※取出しはフレームのツマミを強く引き、溝から外して行います。水洗い後はしっかりはめ合わせて元に戻します。（図8、図9）

図8



③初期雨水溜り内部の洗浄

ストレーナー（ピンク）を同様に取り出し、ドレンバルブを全開にした上でホースやじょうろを水で流し込み、泥や埃を排出させます（排出はバケツ等で受けます）。（図10）

図9



ストレーナー（青）



ストレーナー（ピンク）

④ストレーナー（ピンク）の復元

水洗いした上で元の位置にセットし直します。

図10



▲ドレンバルブを開いて塵埃を洗い流す

⑤完了

ドレンバルブを閉め、蓋を下げてメンテナンス終了です。

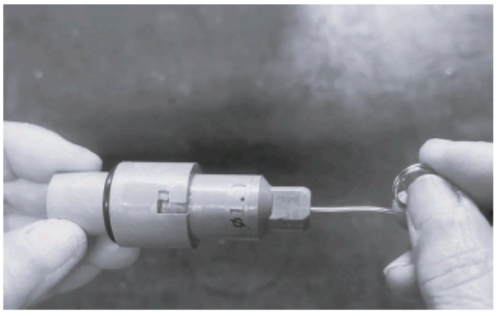
(2) オリフィス

①オリフィスの目詰まり

- 初期雨水溜りに雨水が溜まっている場合はドレンバルブを開いて排水してください。
- その後、オリフィスを引き抜き、図11のように掃除棒（針金）をオリフィスの孔に挿入して掃除してください。（図11）



図11



②オリフィスフィルター

オリフィスフィルターの網目が詰まり、オリフィスの通水機能が阻害されていることが考えられる場合が稀にあります。ストレーナー（ピンク）を取り外し、その下にあるオリフィスフィルターを引き抜いて水洗いしてください。（図12）

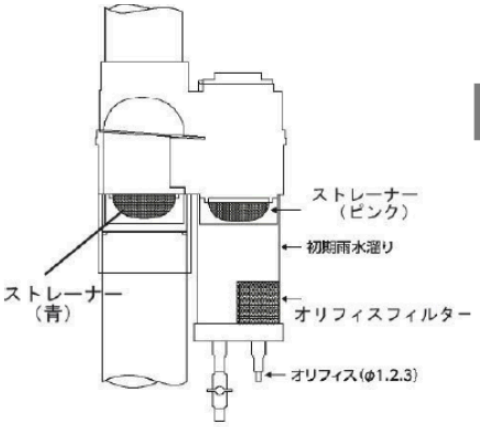


図12

【4】交換可能部材一覧

定期メンテナンスの際、必要に応じて以下の部材を交換していただけます。



ストレーナー（青）



ストレーナ（ピンク）



オリフィスフィルター



オリフィスセット



コンパクトボールバルブ

［製造・発売元］

株式会社トーテツプラス
TOTETSU-PLUS CO., LTD.
https://www.totetsu-plus.co.jp/